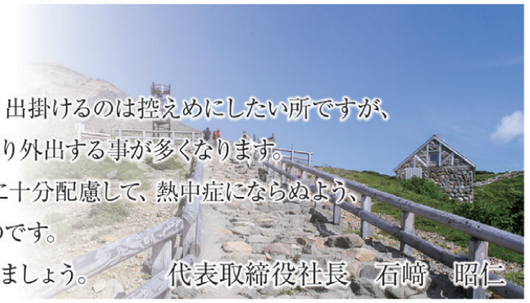
ほっとする家 アイホーム 通信
http://www.ishizakigumi.com
いろいろな情報を掲載しています。
詳しくはホームページで　アイホーム石崎組　検索
Vol,53 2016年8月1日発行

快適な住まいをデザインする
株式会社 石崎組
江別市幸町14 - 3
Tel (011) 382 - 5141

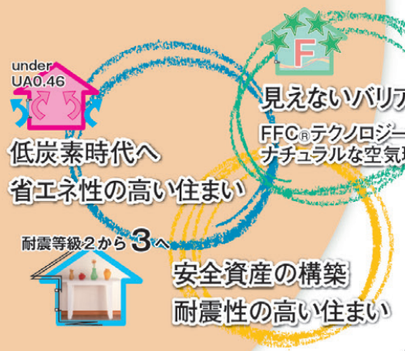


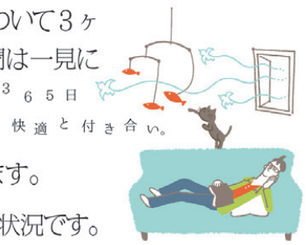
江別のみなさん、こんにちは。
夏本番！8月です。
日差しが強く気温が高いこの時季、出掛けるのは控えめにしたい所ですが、
夏休みやお盆、色々な行事などがあり外出する事が多くなります。
こまめな水分補給や体温調節などに十分配慮して、熱中症にならぬよう、
風邪など引かぬよう心掛けたいものです。
健康に気を付けて、暑い夏を満喫しましょう。　代表取締役社長　石﨑　昭仁

日射を有効に活用しよう！！。

1F 51.34㎡　2F 52.17㎡ TOTAL 103.51㎡ 31.25坪

テーマは、省エネと健康、そして安全です。





モデル住宅の仕様等、コンセプトについて3ヶ月間に渡り記載してきました。百聞は一見にしかず！ぜひご覧頂きたく、私たちも完成が待ちどおしく、ワクワクしています。

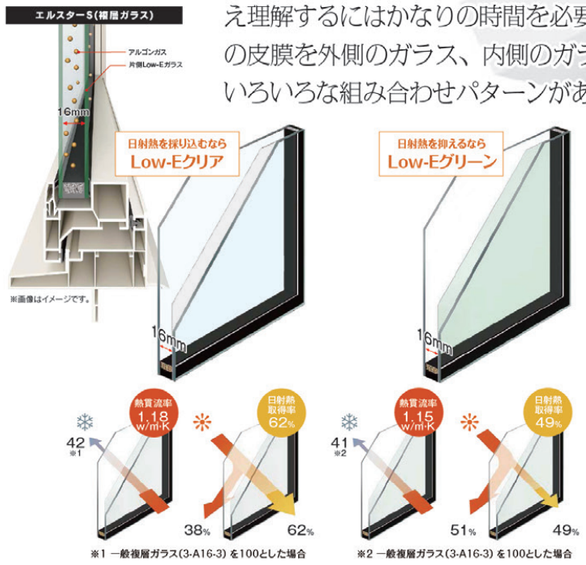
現在建設を盛んに進めている状況です。建物内部の仕様についても決まり、9月下旬のOPENをめざしています。ぜひご覧頂きたくご案内致します。オープン日時等、詳細はHPに掲載していきます。

そこで、このアイホーム通信を初めてご覧になったお客様に、概要をお伝えしたいと思います。

コンセプトは、ライフサイクルコストを抑え、快適にそして省エネ・安全（地震に強い）・健康に配慮した欲張りな住まいです。4月のはじめから断熱設計、構造設計と各認定、適合証明取得等、事務作業を進めてきました。低炭素住宅の認定がされ、フラット35S-Aプランの適合証明申請と、おかげ様ですべての適合申請の書類審査が終了致しました。残すは、耐震等級3と省令準耐火、瑕疵担保保険の現場施工検査です。

最後まで気を抜かず施工品質向上に向け、注意深く施工（工事）を進めていきます。

さて、今回は北海道の冬を快適にする、窓のガラスについて少し記載したいと思います。最近のガラスは高性能化が進んでいます。サッシの性能等については、メーカーさんが十分な資料を提供し公表されています。しかしこの難しい数値を適切に理解する事は非常に難しく、実際建築に携わる私たちでさえ理解するにはかなりの時間を必要とします。ガラスに皮膜をつけるまでは判りますが、この皮膜を外側のガラス、内側のガラス等、つける位置、また空気層の大きさ、皮膜の色等、いろいろな組み合わせパターンがあります。現在の主流は空気層16mmのLow-Eガラスです。

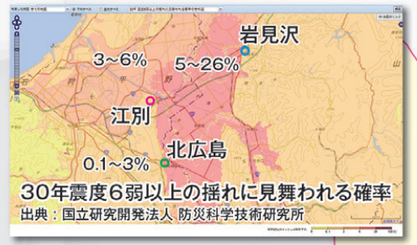


北海道は東京の様に、夏場の強い日差しを受ける期間が少ないため、冬場の暖かい太陽光の恩恵を受ける窓の設計が必要と考えます。

ただ残念な事に断熱性能がいくら良くなったからと言っても、外壁の断熱性能よりは劣りますので光を多く取り入れたいと窓を過剰に大きくすると、やはり冬場の暖房負荷が多くなります。このあたりのさじ加減が微妙な所です。

私たちはグリーンで認定低炭素を取得しましたが、冬場の日射取得の為に一部の窓ガラスをクリアにして、太陽の光を室内に取り込める仕様にしたり、お好みに合わせる事も可能です。総合的に検討し暖房負荷を下げ、一次エネルギー消費量を削減する様に進めて参ります。日々進歩する建築技術と建築材料、建設途中でもより良いものを採用し性能向上をはかりたいと思います。

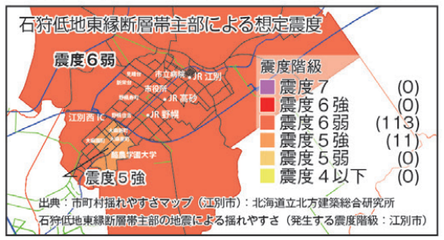
断層の位置・・・。



平成27年2月号で断層について記載致しました。今回改めて江別近郊の断層について考えてみたいと思います。北海道には多くの断層がありますが、石狩低地東縁断層帯が有名です。あまりありがたくない「有名」ですが、地震の専門家は30年以内に震度6弱以上の地震の発生確率が0.1～3%と評価していて、私たちにとっては比較的安心できる様に感じますが、結構高い確率の評価と考えられています。近郊の札幌市の調査によると、

★ 札幌市直下の地盤に波打つ形状が見つかった。
★ 過去の大地震の痕跡である「液状化跡」が見つかった。
★ 現在も、札幌市直下で身体に感じない地震が起きている。

と言う報告がされています。そこでは最大震度7程度の地震発生の可能性があると、記載されています。



また江別市でも、揺れやすさマップを公表し注意喚起をしています。

いつ起きるか判らない地震、危機感を煽る訳ではありませんが、今後の住まいづくり、リフォームをご検討のお客様は、ご参考にされてはいかがでしょうか？。